





豊川流域と廃棄物の関わりについて

社名	加山興業株式会社
設立	1961年（昭和36年）11月1日
代表取締役	加山 順一郎
資本金	5,000万円



事業拠点	   	<p>本社 愛知県名古屋市熱田区南一番町15-5 豊川本社 愛知県豊川市南千両2丁目67 千両リサイクルプラント 愛知県豊川市南千両2-1 市田リサイクルプラント 愛知県豊川市市田町蓮池20番地2</p>
事業内容	<p>ISO14001(環境)、 ISO45001(労働安全衛生) を運用しています</p>	<p>産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 特別管理産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物処分業 一般廃棄物収集運搬業・処分業</p> <p>自然エネルギー事業 養蜂事業 環境啓発事業 環境機器用品販売事業 SDGs実装支援・普及啓発事業</p>

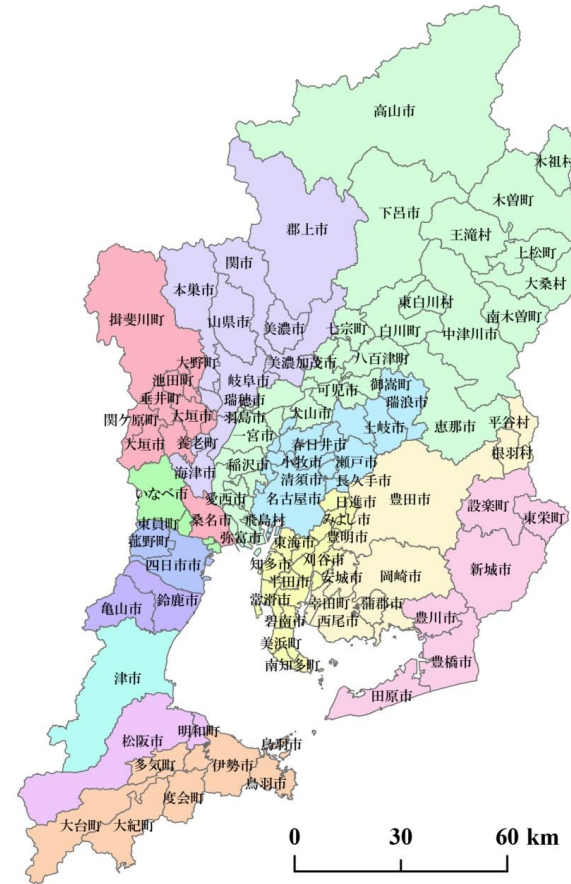
弊社の戦略的重要課題について

	2030年のありたい姿	主なテーマ
適正処理・資源循環	あらゆる廃棄物の適正処理を満たすことへの継続、マテリアルリサイクルの事業領域の深化	<ul style="list-style-type: none"> ■あらゆる廃棄物の適正処理 ■リサイクルと資源回収
脱炭素	「クリーンな日常を世界に」社会創造の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■自社の事業活動におけるCO2排出量削減 ■サーマルリサイクル製品の提供を通じた顧客のCO2削減 ■再生可能エネルギーの普及促進 ■有効利用できるエネルギーの活用
地球共生	様々な社会課題に柔軟に 대응し続けることができる“ I ' m Here! ”(いつもそばに)の体現	<ul style="list-style-type: none"> ■SDGs普及啓発 ■持続可能な開発のための教育 ■美化活動 ■災害に対する強靱な体制構築 ■文化・スポーツ振興 ■次世代育成 ■発展途上国への技術移転・ビジネスを通じた社会課題解決 ■その他ステークホルダーから要望を受けた社会課題の解決
環境共生	「緑あふれる」=豊かな自然環境と生態系が満たされる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性の尊重 ■水資源管理 ■大気汚染の防止 ■土壌汚染の防止
ウェルビーイングの追及	社員がお互い尊重しあい高め合い、安寧な生活を営むことができる会社の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■社員の成長 ■社員の健康 ■労働安全衛生 ■ワークライフバランス ■多様な働き方改革 ■ダイバーシティインクルージョン
コンプライアンス遵守・リスクマネジメント	揺るがない企業基盤の構築による永続的にステークホルダーから必要とされ続ける会社の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■順守義務マネジメントシステムの強化・確立 ■反社会的勢力との関係排除 ■情報セキュリティへの対応 ■コーポレートガバナンスの強化 ■リスクマネジメント ■人権に配慮できる企業風土の醸成

流域圏の確認

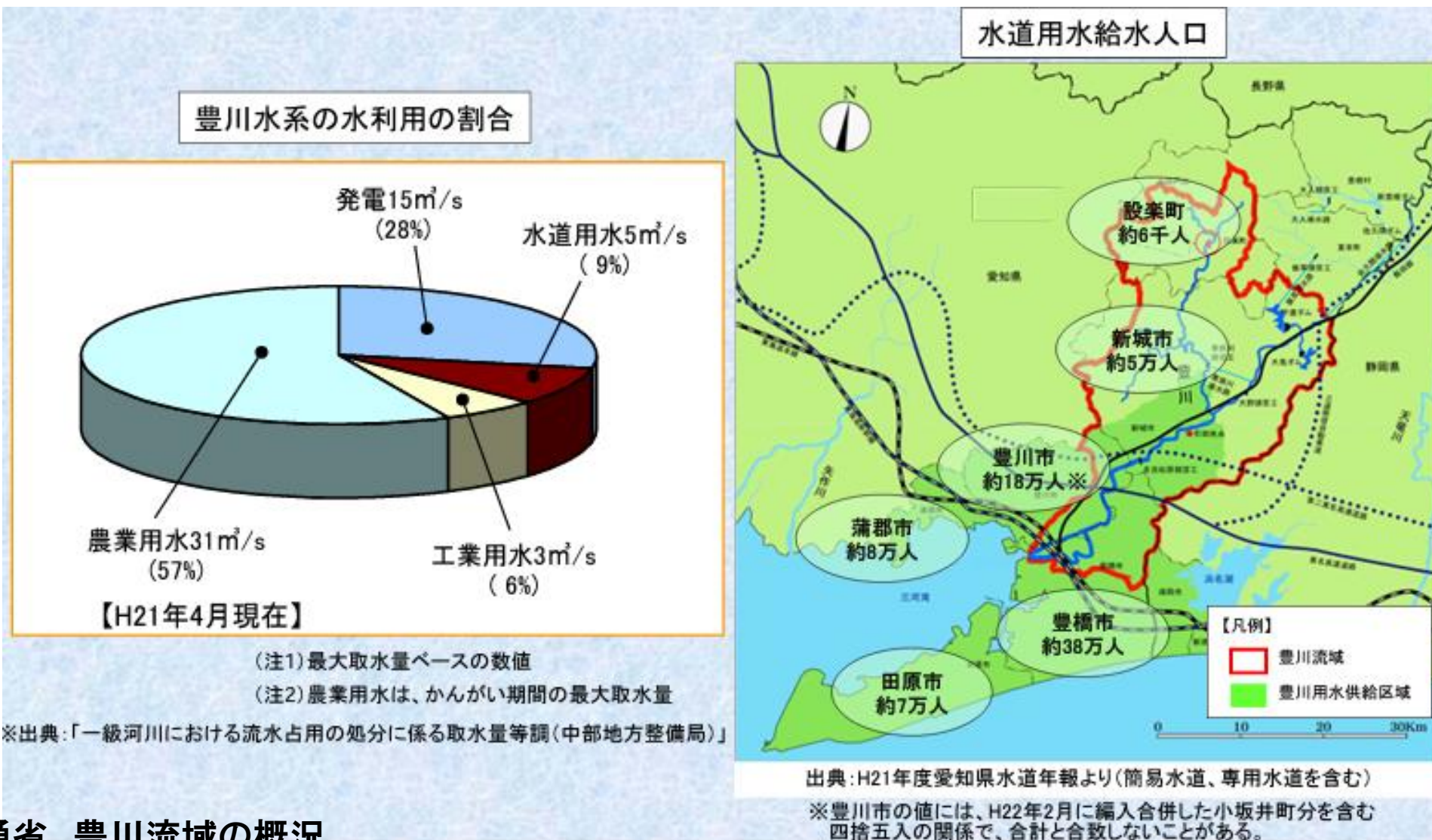


伊勢・三河湾に注ぐ主要河川流域
国土数値情報「流域界・非集水域第1.1版」より作成



流域圏自治体

豊川流域について



出典)国土交通省 豊川流域の概況

豊川流域の上流から下流までで発生する課題

豊川流域(上流)	人目につかない場所が多いため、不法投棄されているケースがある。
豊川流域(中下流)	<ul style="list-style-type: none">■工業用水を取得できることから新城、豊川、豊橋市内では特に工業団地が多く、田原市では再生可能エネルギー事業が盛んであり、経済活動で廃棄物が発生する。■モラルの欠如等により、廃棄物が川に捨てられることによって、下流域に漂着しているケースが散見される。
豊川流域(全域)	<ul style="list-style-type: none">■全体的に農業を生業とする方々が多く、生産工程で廃棄物が発生している。■約77万人が生活しており、それに伴い一般廃棄物が発生している。安全衛生上かつリサイクルを推進するためには分別する意識が必要になる。

豊川流域(上流)と弊社の関わり

豊川流域(上流)

人目につかない場所が多いため、不法投棄されているケースがある。

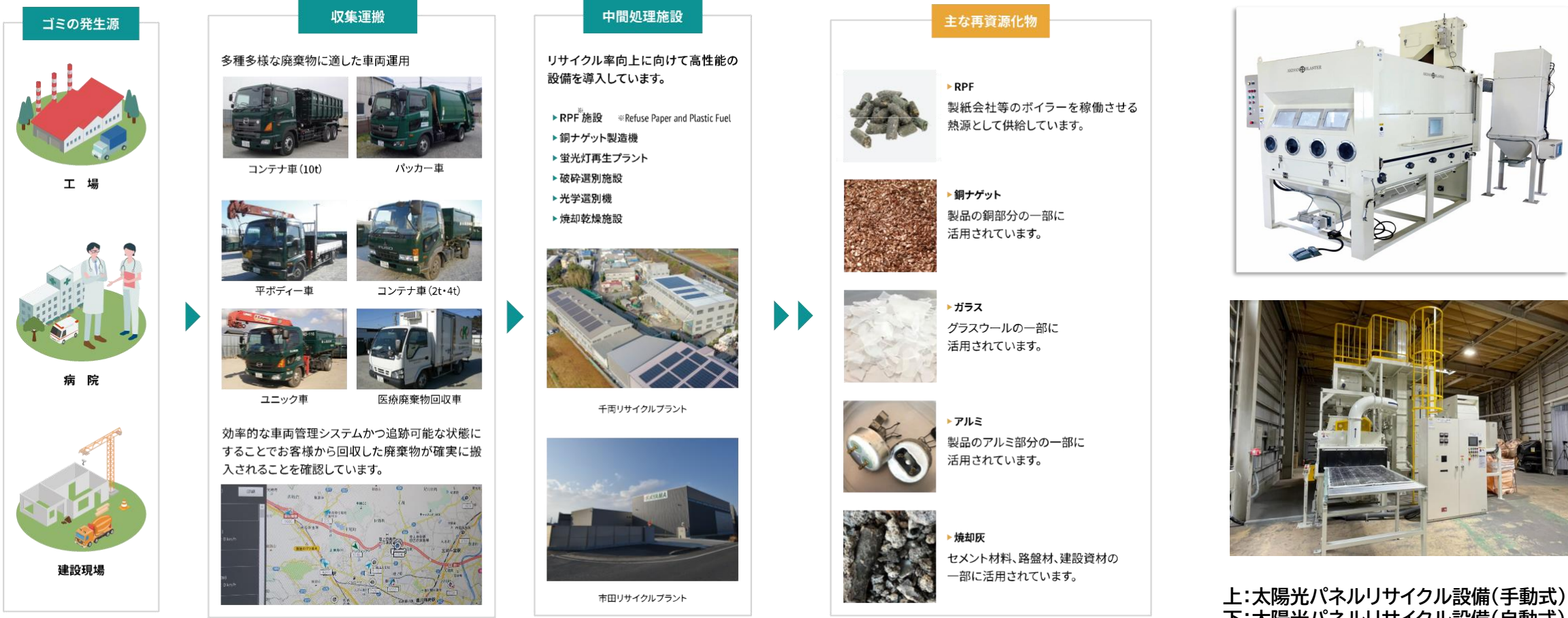
- ★弊社が所属している愛知県産業資源循環協会東三河支部にて「11月恒例不法投棄物撤去作業」に参加。
- ★地域の方々と撤去作業を行うことにより、積極的な環境保全の取り組みへの理解、および不法投棄防止活動の重要性について意識啓発を実施。



豊川流域(中下流)と弊社の関わり

豊川流域(中下流) ■工業用水を取得できることから新城、豊川、豊橋市内では特に工業団地が多く、田原市では再生可能エネルギー事業が盛んであり、経済活動で廃棄物が発生する。

★多種多様な廃棄物を受け入れなるべくリサイクルルートに回す



豊川流域(中下流)と弊社の関わり

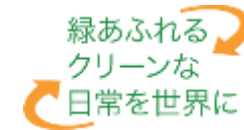
豊川流域(中下流)

■工業用水を取得できることから新城、豊川、豊橋市内では特に工業団地が多く、田原市では再生可能エネルギー事業が盛んであり、経済活動で廃棄物が発生する。

- ★豊橋中央高校様とともに田原市西の浜海岸のゴミ拾いイベント「リアカーボランティア」を実施。
- ★7月21日～23日の3日間をかけて生徒参加総数180名と一緒に取り組む。
- ★集めたごみは、当社のコンテナで、田原リサイクルセンター炭生館に総量420kgを搬入。
- ★ごみ拾い実施後には、参加した高校生に対して弊社のリサイクルプラント工場見学を実施。



豊川流域(全域)と弊社の関わり



豊川流域(全域)

■全体的に農業を生業とする方々が多く、生産工程で廃棄物が発生している。

★それぞれの廃棄物の組成を確認しながらなるべくリサイクルルートに回す

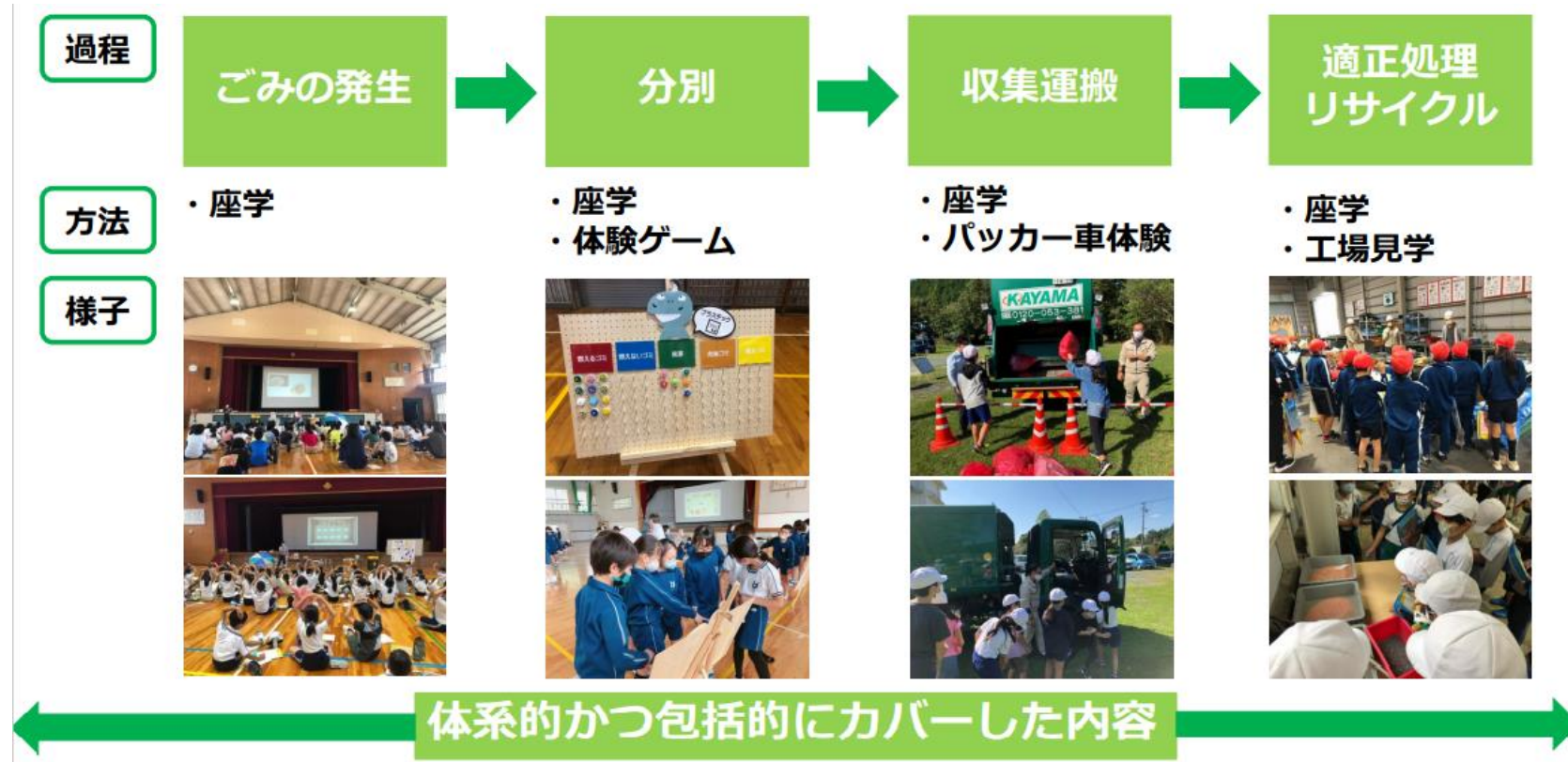
	固形燃料化	農業用ビニル	木くず	金属くず	農業空ボトル	不燃物
処理内容	石炭の代替燃料にリサイクル	再生塩ビにリサイクル	ボイラー燃料にリサイクル	再生金属にリサイクル	焼却処分	安定型処分場に埋立処分
	農ポリ、軟質ポリ、材料袋、不織布、マルチ、ビニールシート(金具外した物) トレー、PP鉢、プラスチックコンテナ、マイカー線	農業用ビニル	木くず合板 (釘、金属付も可)	金属くず、パネなど	農業空ボトル (中を水洗いした物)	塩ビ管(2m以内)、廃プラスチック類 ガラス・陶磁器くず、作業靴、ゴム手袋ダクトホース、電線、輪ゴム
不可	油・異物の付着があるもの	土砂の付着があるもの	生木	—	農業の残っているもの	紙・木・油等が付着したもの
	土砂等は払い落としてください	土砂等は払い落としてください	伐採木も乾燥済みなら可です		中を水洗い後、乾燥し、キャップは外してください	—
分別例	<p>固形燃料(RPF)</p>	<p>再生塩ビ製品</p>	<p>燃料チップ</p>	<p>再生金属</p>	<p>焼却処分 (廃熱(1,050℃)を汚泥乾燥にサーマルサイクル)</p>	<p>埋立処分</p>

豊川流域(全域)と弊社の関わり

豊川流域(全域)

■約77万人が生活しており、それに伴い一般廃棄物が発生している。

- ★「kayamaとともに100年先も続く未来と一緒に考えるプロジェクト」の一環で10年前から実施
- ★ごみの発生から適正処理・リサイクルまで一貫した教育サービスを提供
- ★61期(2021年9月～2022年8月)においては、26件(受益者1,865人)実施。
- ★これまで、累計61件(受益者3,633人)実施。



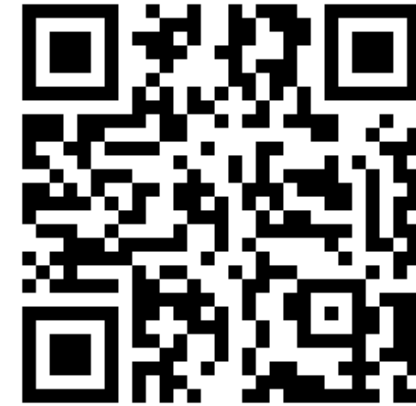
ご清聴ありがとうございました！

より弊社の取り組みを知りたい方は以下をご参照ください！

会社HP



サステナビリティレポート



加山興業株式会社
経営企画室 マネージャー
井上 智博
080-1465-3427